

平成26年度 第I期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会
薬学生受入対策委員会

① 感想

- 11週通して指導したのは初めてでしたので、日々の業務と並行して指導することは大変でしたが、薬局スタッフの協力のもと何とか乗り切れました。しかもI期と言う事で学生も実習初体験、個人差もあるでしょうが、処方せんが読める程度でのスタートですからあくまでもやさしく丁寧に説明することを心がけました。そんな中でも意欲的な学生でしたので、後半になる頃には処方せん1枚を安心して任せられるレベルとなり（調剤に関して）日々の業務がスムーズに流れ感謝しています。
- 2回目の受入であったが、簡単に受け入れられるものではないと感じた。実習は将来どの道を選ぶか、インターンシップの場として役割が大きいと感じる。調剤薬局に全く興味がなかったとしても、調剤薬局の良さ、面白みを少し感じてもらえたかと思う。薬に関する知識はかなり身につけており、感心したと共に受入側の勉強不足を感じた。
- 課題によって時間がかかり、予定通りにいかないこともありましたが、実習態度は問題なかったと思います。
- 今まで4、5人の薬学生を受入れましたが、いずれも実習意欲が高く6年制の学生の質の高さを感じております。スケジュール作成についても今までの蓄積、経験により何とか対応できたと思います。当薬局では、学生を孤立させない、退屈させないを念頭にスタッフが常に気をかけておりますが、業務上、難しい点があることも事実です。一つの薬局での11週の実習においては、マンネリ化、学習意欲の低下など限界があるようでサポート薬局での実習の必要性もかなり感じました。
- 将来目指す薬剤師として、調剤薬局での体験を実際に出来たことは学生にとって大きなメリットであると思います。また指導薬剤師としては、薬学生を通して社会貢献出来たことを大変嬉しく思います。学生を受け入れた事で、適度な緊張感も生まれスタッフ一同教えながら自ら学ぶ事も多々あり、薬局全体のクオリティの向上と、モチベーションアップにも繋がったと感じました。また複数店舗を見学することにより幅広い学習が出来たと思います。
- 学生が真面目で熱心だったので指導しやすかった。私個人としても6年制の学生を指導するのは3回目だったので滞りなく行えたと思う。
- 昨年の男子学生に対して、今年は女子学生だったが、扱い等に大差なく、遅刻・早退・欠席ゼロと健全でよかった。真面目で大人しい印象の彼女だったので、患者さんへの投薬（服

薬指導)ができるようになるのを大目標に設定、私との投薬シミュレーションに時間を割いた。

- 実習を通して、毎日、自分自身の勉強にもなりお互い学習させてもらっている印象を受けます。未来ある卵を育てる事は非常に楽しく取り組ませてもらっております。

- 今年度も南アルプス市薬剤師会では、例年通り 3 グループ編成で受け入れを実施できるように、担当委員を中心に薬剤師会全体で協力体制を整え取り組みました。第 I 期の若草・甲西グループは基幹薬局と 5 つの協力薬局、さらに専門薬局として地域薬剤師会内 2 薬局と他 2 地域 2 薬局の計 10 薬局がかかわり、すべての実習内容を学習できるように、盛りだくさんのスケジュールで取り組んでもらいました。

基幹薬局として受け入れを行ったのは今回で、3 回目となりました。協力薬局は前回と同様、専門薬局には漢方薬を中心に扱う薬局を 1 軒加えた 4 薬局となりましたが、ほぼ今までどおりの体制で行いました。

南アルプス市薬剤師会では 6 年生薬学部の実務実習がスタートした平成 22 年から地域ぐるみで薬学生を受け入れる体制を整えてまいりました。当時よりグループ数が 1 つ減り、統合されたため、若草・甲西グループは大所帯のグループになってしまいました。過去 2 回の基幹薬局としての受入れの際も苦労した点ですが、協力薬局への実習時間を割かなければならないため、基幹薬局の実習時間が今回もまた、タイトになってしまったことです。実習日数の内訳は基幹薬局で行った実習が 37 日 / 55 日、協力薬局が 18 日 / 55 日で、過去 2 回とほぼ同じような割合でしたが、今回は過去 2 回以上に時間不足を感じました。基幹薬局では経験できない SBOs を協力薬局や専門薬局で学んでもらい、すべてを実地で経験してもらおうという思いで行いましたが、結果は、繰り返しが十分できなかったり、未実施の SBOs が出てしまったりと、計画通りに行けなかったところが出てしまいました。学生にも忙しい思いをさせたり、時間内に十分な記録時間を割いてあげることが出来ず、これまでの受入れの中で最も反省が残る結果でした。

- 自分自身が抱えている役職や仕事が多く、学生が満足のいく実習が出来たかどうか心配である。はっきり言って 30 代、40 代の若手薬剤師にやってもらいたいと思う。自分の得意分野に限り協力薬局に協力したい。
- 今回の実習では服薬指導を早めに行えるようカリキュラムを組んでみました。今まで以上に患者対応の時間を設けることが出来良かったと思う。

② 問題点と今後の課題

- チェーン薬局なので、2~3 箇所の店舗で異なる診療科の処方せんを手にする事ができましたが、それでも門前の医院からのものに偏るため、指導が限定されたり視野が広がらないのではと考えます。

- 実習生受け入れが知らないうちに決定されていたが、集合研修はこちらから聞かないと教えて頂けなかった。スケジュールの作成が遅れ、事前の大学との話し合いがスムーズに行えなかった。

「特別な科ではなく、広く浅く教えてもらいたい」と言われたが、扱う薬が偏り、不可能なので困った。「学校で教えてもらったことと言う」と言われることがあり、業務が滞ってしまった。
- 実習後半になると、どうしても貴重な調剤要員になってしまう日もあり、積極的に服薬指導に促して行かないと調剤ばかりになってしまうので、注意したい。
- 指導薬剤師を含め最低2人の薬剤師が必要である。受け入れる側の環境整備を再考する。(薬剤師に人数など)

集合研修のあり方を再度検討する。

 - 移動手段の手配(当日になって)配車が出来なくなった)、集合研修の実施場所の案内(場所が分からず学生が困惑していた)、集合研修の場所の見直し、開催日時の徹底(土曜日開催があった)
- 学生は集合研修に少々退屈さを感じていたようです。開催日時(土曜は避けるなど)と内容のご検討をお願いします。集合研修の詳細内容に不明点があります。
- 業務が立て込んだときの学生への対応が難しかった。
- 到達目標の項目数が多過ぎて、薬局や実習生個人に合せた(良い意味で)偏った実習計画が組み難い。
- 実習生自体も大分分かってきているので、自分たちもそれに対応して話し方やほめ方指導する方法を変えています。集合研修に対してかなり辛らつな意見も本人から出てたのですが、権利のみを主張し、他の店舗へ実習に行ったときは態度も悪かったようであり、彼らの意見を鵜呑みにするのリスクもあるかもしれません。
- グループによる受け入れの体制は、メリットとデメリットがあると思います。南アルプス市の受け入れ体制は初年度から基幹+協力数軒を一つのユニットとするグループ受け入れを行ってきました。基幹薬局が実習全般を担い、できないSBOsを協力薬局、専門薬局で補う。学生にとってのメリットはもちろん、単独では受け入れの難しい地域内の小規模薬局においては、多くの薬局が受け入れを負担なく経験できるというメリットがあります。デメリットとしてはユニットが大きくなればなるほど一軒当たりに割り振られる日数が少なくなるという点。逆に、基幹薬局のスケジュール調整にかかる負担が大きくなるという点です。これは、いろいろな面で、基幹、協力、学生それぞれにとって良いこととは思えません。実際、学生からは協力薬局の時間が短く、慣れたところで終わってしまう。というデメリットの

声が聞かれました。次回以降の受け入れ体制づくりに生かしていきたいと思います。

- 実務実習指導薬剤師の養成。基幹薬局と協力薬局の増設。
- 調剤報酬改定の影響で業務量が増加したため、実習生にさける時間が短くなってしまった。

③問題点・課題の改善点

- 何回か話題にはなっていると記憶していますが、統一された模擬処方せんがあれば、指導項目の漏れやバラツキも少なくなり忙しい業務の中でも効率よく指導できると思います。また、薬局間での指導の密度も平均化されるのではないのでしょうか？
各診療科の特色ある処方例の注目ポイントを受入薬局の流れに反映させることで実務実習に直結すると考えます。まずは社内の処方せんを活用して実践してみようと思います。
- 受入先ごとに受入の確認、集合研修などの情報を教えてほしい。
実習生の希望に沿った実習先を選んだらどうか。
集合研修があること自体を事前に学生に伝え、交通手段を少し自分で考える様にしてもらいたい。送り迎えが困難な場合がある。
学校での教育は正しいが、実際は異なることがある事を伝えておいてほしい。（特に医師と薬剤師は対等であるという意識が強く、なぜ対等に話ができないのか最後まで指摘され続けた。）
- 集合研修で在宅分野を担当していますが、今回の改定内容にそった資料映像がありましたらいただきたいです。
- 受入薬局の薬剤師の人数、店舗の広さなど学生にとって余分なストレスのかからない環境を整備された薬局におねがいできれば・・・。集合研修においては上記問題点を再考し、指導する側の満足度ではなく、あくまで学生の満足度を上げるための研修を実施していただきたい。
- 集合研修において実際行なった内容の詳細と当日の学生の状態をフィードバックして頂けると有難いです。学生に意見や感想、希望などを書いて頂いても良いと思います。集合研修は学生同士の交流の場になりますのでお互いの意見交換などもしては如何でしょうか。学生が薬剤師になる事を心から願い、薬剤師になってからも職能を発揮して頂くために、基幹薬局、指導薬剤師は責任を持って学生を指導します。他店舗、上司の協力を得ながら指導側、学生ともほぼ満足できる実習となりましたが、一人薬剤師の薬局では、しっかりしたサポートがないと難しいのではないかと痛感しました。
- 現実的ではないが指導に専念できる体制が整えば・・・。
- 到達目標数は半減させると良い。

- 集合研修は実習生にも相手の連絡先を伝え、緊急時に対応できると良いと思います。
- 進学で一旦出身地を離れた学生が「地元に戻って就職したい！」と希望するような、そして、きちんと県薬剤師会に入会してもらえるような活動を実習中に県薬剤師会主催で行えないでしょうか？当然学生さんなので、県薬剤師会がどのような存在で、役割や機能を持っているかは全く分からないと思います。その紹介も兼ねつつ、期間中に1度夜の時間を使い、学生交流の場を設けてはいかがでしょうか。受入れは年に3期あるので、担当委員会は大変だとは思いますがやるだけのメリットはあると思います。地元に戻って実習を受けようと思う学生ですから、県内での就職も検討している学生さんだと思います。このチャンスを生かして県の魅力をアピールしてはいかがでしょうか？

目的は、Uターンにあるので、病院薬剤師会も共同してできるといいんですが…。

- 指導薬剤師の発掘(地域薬剤師会内へのアンケート調査、WSなど費用面の助成体制整備)。アンケート調査により協力薬局の把握(再度、基幹薬局と協力薬局の説明、手当配分の取り決め)
- 学生に行ってもらった課題の再考。

④協力薬局の感想・問題点と改善策

- 当薬局では対応できない専門的内容を指導いただき非常に助かると同時に、学生にとっても他薬局を体験することは刺激になったようです。問題点ではありませんが、会社として複数人数を受入れている場合、日程を同じにして頂けると送迎の点で助かります。
- 1つの薬局で2ヶ月半ずっと受け入れるのは困難。実習できないことも多々あるため、協力薬局があるのは指導側からすれば大変ありがたいが、実習生は否定的であり困った。
- よくやっていただいて感謝しております。研修の内容については学生が評価すると思います。
- グループ内で協力を依頼したのでスムーズにコンタクトがとれた。学生にも高評価だった。
- 集合研修でお世話になった薬局・薬剤師にお礼申し上げます。協力薬局の運用実績なし。(来期は協力薬局と連携をとりたい)
ペーパー指導薬剤師の指導目的で1基幹薬局に3～5協力薬局(指導薬剤師)を割り振る。基幹薬剤師は予定を組んで、協力薬剤師に実習生をあずける。協力薬剤師は期間中に2～3日程度、丸一日実習生をマンツーマン指導する経験ができる。

- [問題点]

他の協力薬局での実習内容を厳密に把握していたわけではないので、実習内容に重複していた部分があったかも知れない。

実習生の車移動の機会が多いのも事故の危険性を考えると頻度は低い方が良いと思われる。また2日間という短い期間では、あまり秤量や分包機を用いた分包などを実際にやらせてもらう機会が少なく、説明が中心になってしまった。

[改善策]

実習生への負担も考え、ある程度協力薬局数は限定した方が良いのではないかと思う。協力薬局数を限定し、各薬局での実習期間をもう少し長く設定し、実務に携わる時間を多くとれるように出来たらと思う。

- それぞれ得意分野を発揮していただき、学生には満足のいくものだったと思う。もっと協力薬局にお願いしたい。
- 個別にお願いしたいSBOs等近隣の薬局の理解が得られず残念。

実習生アンケート

長期実務実習 第I期(平成26年5月12日～7月27日) 10施設10名

アンケート提出者 10名

病院実習 未:10 済:0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
		1	5	4

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
		1	2	7

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
2	6	2

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた 1	2	中程度 3	4	合っていた 5
		4	3	3

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入
7	2	1

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			1	9

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
	1	1	2	6

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立たない 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
			1	9

コメント部分について

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

<あり> 6名

- ・処方せん受取から投薬までの流れや服薬指導の流れ。
- ・服薬指導の仕方
- ・粉の扱い方
- ・患者一人一人に合った服薬指導

<未記入> 2名

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

<あり> 2名

病院 ⇒ 調剤薬局又は病院

MR ⇒ 薬局の薬剤師

<なし> 7名

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きます。

・実習先以外の現場に行き色々な分野について学べたことはとても勉強になり良かったと思います。

・集合研修時に何をするのかしたいのかははっきりしないことがあったので改善して欲しい。土曜日の集合研修は避けてほしい。

・自分が実習に行っている薬局以外の店舗での実習や様々な職種の方々の話を伺う機会が多くあったため、非常に有意義な実習でした。でも出来る事なら集合研修で1日座学をするのはもったいない気がするので変えてほしいと思いました。

・実習と言っても社会に出て勉強すると言う事で最初は不安もありましたが、とても有意義な2ヶ月半でした。疲れはしましたが、とても楽しかったのも事実です。薬局の方々も優しく接してくれて非常に嬉しかったです。集合研修において、吸入薬やインスリンの自己注射などは実物を用いた分かりやすいものだったが、スライドのみの場合にレジュメがない、といったこともあったので理解に苦しんだ。レジュメ作成などにもう少し工夫が欲しいと思う。薬局は門前の病院によって扱う薬に偏りが出してしまうと言う事が問題だと思ったが、私が実習を行った薬局ではその点もカバーしてくださったので良かった。

・救急医療についてちら見程度で終わってしまったのが少し残念でした。実際にその場へ行ったのならば、何か一言でも説明があったら良かったなと思います。集合研修がたびたびある事で、他の薬局の雰囲気、他の大学の薬学生との交流が持てたことがとても良かったです。

・実習を終えて薬局薬剤師は処方通りの調剤の仕事と思っていましたが、実際は全く違う事を知る事ができました。今は、薬局薬剤師に大変興味をもっています。今回、残念だったのは集合研修で時間についての変更等、直前で連絡が来ず困惑しました。個人情報等あるので難しいとは思いますが、実習生に直接連絡があるといいと思います。

・様々な形態の薬局で実習をできたことはとても良かったと思う。ただ、基幹薬局以外の薬局へは2、3日くらいで慣れて終わりという感じだったのでもう少し長くてもいいのではないかと感じた。

・合同研修に参加したことで薬剤師の業務の可能性を感じる事が出来ました。非常に良いプログラムで参考になりました。薬局及び研修先の先生方はとても勉強熱心で優秀な方ばかりで将来のお手本にしたいと思いました。

・良かった点：現場で働くことで思うリアルな意見が聞けた事。その他：少し空いた時間が出たのでその時間に何か学ぶ事が欲しいです。